



八代妙見祭

3年ぶりの神幸行列、亀蛇の舞い、大迫力の馬追い

11月23日に「八代妙見祭」が開催され、多くの人でにぎわいました。雨が降る夜明け前の早朝、獅子や亀蛇、笠鉾など40の出し物が出発地となる塩屋八幡宮に集結。約1500人からなる神幸行列が、雨にも負けぬ熱気で八代神社を目指し、市内を練り歩きました。

雨のため、一部の笠鉾は本町アーケード内に展示されました。砥崎河原では、獅子舞や花奴の演舞の後、籠、笠鉾菊慈童、神馬、神輿、流鏝馬などの紹介が続き、人気者の亀蛇が登場すると、高速で回転し大暴れする姿に観客から声援が送られました。
3年ぶりの八代妙見祭は、八代に笑顔と元気を届けました。



- ① 砥崎河原を駆け回る亀蛇
- ② 獅子を導く玉振り
- ③ 籠から手を振る姉妹
- ④ 水しぶきを上げる飾馬
- ⑤ 祭り後、お祭りであんどんで行われた笠鉾の解散式
- ⑥ 八代駅前演舞に夢中になる観客たち
- ⑦ 八代神社に運ばれる神輿
- ⑧ 「せいとこせいとこせい」のかけ声で進む花奴
- ⑨ ユネスコ無形文化遺産登録5周年を記念した熊本城おもてなし武將隊によるおもてなし演舞
- ⑩ 将来の八代妙見祭を担う、子どもたちによる馬追い
- ⑪ 旗を力強くふる飾馬の八青会メンバー
- ⑫ 神幸行列(甲冑武者・大麻・太鼓・神官など)
- ⑬ 先輩の玉振りを真剣に見つめる子どもたち
- ⑭ 神幸行列(毛槍)
- ⑮ 天高く矢を射る八代妙見祭流鏝馬保存会メンバー
- ⑯ 笠鉾菊慈童が「ホイホイ」のかけ声とともに砥崎河原に登場

